

令和2年度予算

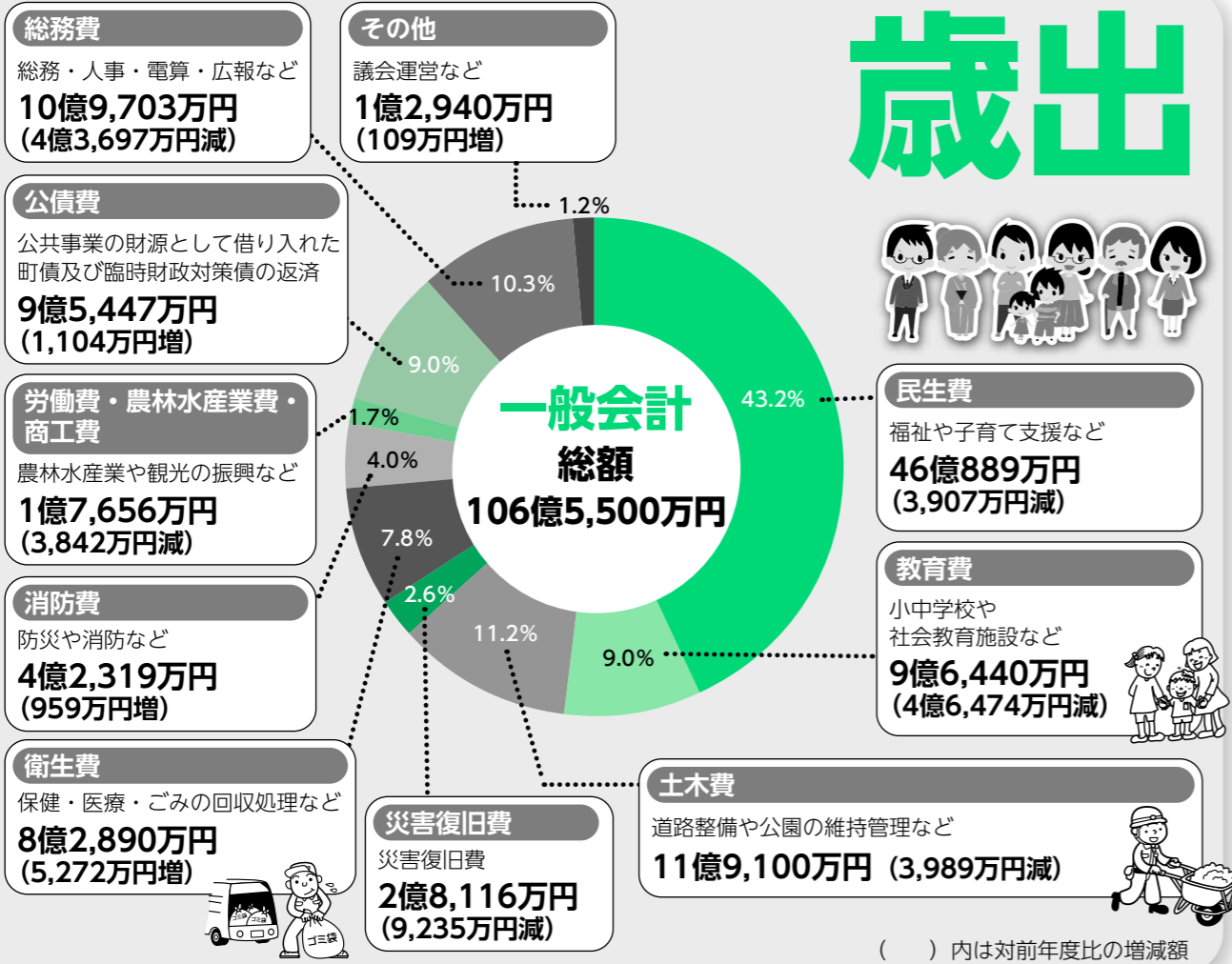
予算編成重点方針

- 令和2年度は、平成30年7月豪雨災害対応に係る「被災者生活再建支援」「災害復旧・インフラ強靱化」「防災体制の強化」について、引き続き、町の最重要課題として捉え、取り組んでいく予算としました。
 - 第4次海田町総合計画後期基本計画の仕上げとして、海田町らしく「オンリーワン」のまちとしての発展を目指し、「まち まるごと オンリーワン」の実現に向けた各種施策を推進する予算としました。
- ※令和2年度予算について、詳しくは<http://www.town.kaita.lg.jp/soshiki/4/114664.html>
海田町ホームページ トップページ>町財政情報>財政>予算>令和2年度予算 を参照してください。
※「第4次海田町総合計画後期基本計画」は企画課（役場3階）およびホームページで閲覧できます。

- 一般会計…公民館整備事業が令和元年度で完了したことなどによる投資的経費の減などにより、前年度に比べて8.9%の減となっています。
- 特別会計…公共下水道事業特別会計における雨水整備費用や、公債費における元利償還金の減などにより、前年度に比べて0.7%の減となっています。
- 水道事業会計…国信浄水場改修工事などにより、前年度に比べて2.1%の増となっています。

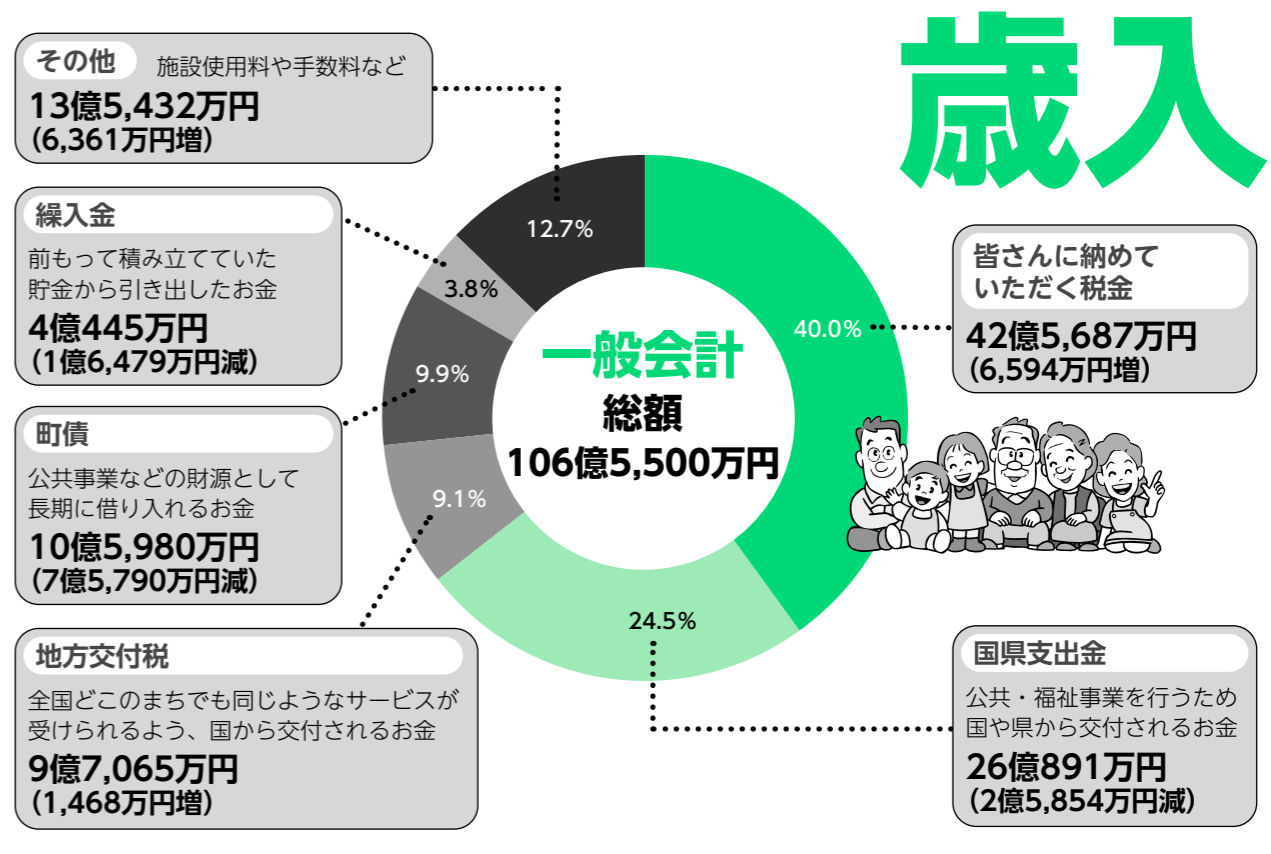
一般会計 106億5,500万円 (対前年度比 8.9%減)
特別会計 60億5,958万円 (対前年度比 0.7%減)
水道事業会計 6億2,760万円 (対前年度比 2.1%増)

※特別会計とは、公共下水道事業・国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の4会計のことです。



歳出の主な増減理由について

総務費は庁舎移転事業などの減により全体として減となっています。
 衛生費は広域ごみ焼却場事業などにより増となっています。
 教育費は公民館整備事業が令和元年度で完了したことにより減となっています。
 災害復旧費は道路橋りょう災害復旧事業などの減により全体として減となっています。
 公債費は平成30年7月豪雨災害などに係る町債元金の償還開始により増となっています。



歳入の主な増減理由について

町税については、固定資産税の増などにより、増加が見込まれます。
 国庫支出金については、保育所整備支援に係る保育所等整備交付金の減などにより減少が見込まれます。
 町債については、公民館整備事業などに係る起債により減少が見込まれます。
 財源不足は、財政調整基金からの繰入れによって補います。